

# めいか

令和5年2月28日  
文京区立明化幼稚園

## 子どもたちが羽ばたく春に

園長 野田久美子

少しずつ日差しが明るくなってきました。先日の小石川植物園遠足で梅の花を見つけた子どもたちは、「ピンクできれい」「白いお花もあるね」と感じたことを口々に話したり、「いい匂い」とそっと顔を近づけて匂いを嗅いだりしていました。

先日、年長組が玄関にひな人形を飾りました。「わー、おひな様」と、子どもたちは関心をもって見えています。園にいらしたお客様が「立派なおひな様ですね。幼稚園はこういう行事を大切にしているいいですね」と言ってくださいました。端午の節句に始まり、七夕、クリスマス、豆まき、ひな祭りなどの行事は、子どもたちが季節を感じ、自分の成長を感じるものです。また、行事を生かした遊びや活動が生まれ、園生活が豊かになります。子どもたちはひな人形作りをしました。平面から立体へ、紙から布へ、選べる材料が増え、個々の工夫が広がり、各年齢に合わせた作品です。世界に一つしかないおひな様、ぜひご家庭でも飾ってください。

子どもたちは、この一年で大きく成長しました。年少3歳児は、「入れて」「いいよ」の声掛けで遊びが始まることが多くなり、友達と同じ場で同じような動きをしながら関わって遊ぶことを楽しんでいきます。年中4歳児は、年長組から様々なことを引き継ぎ、当番活動にも意欲的に取り組んでいます。「しろくんがお水飲んでる」「おいしいんだね」と、モルモットの世話をした時、新しく入れた水をおいしそうに飲む姿を満足そうに見ていました。年長5歳児は、明化小学校一年生との交流活動をしました。3～4名のグループで互いに自己紹介をし、道具箱の中を見せてもらったり、ランドセルを背負わせてもらったり、校内見学をしたりしました。初めは緊張気味だった子ども一年生に優しくいろいろと教えてもらううちに楽しそうな表情に変わってきました。子どもたちは、様々なことに興味をもって取り組み、満足感や充実感、達成感を味わうことで、新たなことに挑戦し、自分の力を伸ばしていきます。入園、進級当初の姿を思うと、一年の成長の早さを感じるとともに、子どもたち一人一人がたまらなく愛おしく思えます。

いよいよ今年度も最終月となりました。進級、就学への期待につながる活動を通して、子どもたちが伸びようとしている気持ちを受け止め、一人一人が成功感や充実感を味わい、自信をもって次の世界に進めるよう、私たちは支えていきたいと思います。

一年間の保護者や地域の皆様からの温かいご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。



<年少組のおひな様>



<年中組のおひな様>



<年長組のおひな様>